

<特集「情報標示の諸要素」>

パピアメント語における情報標示の諸要素 Markers of informational structure in Papiamentu

パトリシオ バレラ アルミロン
Patricio Varela Almiron

東京外国語大学大学院総合国際学研究科
Graduate School of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

要旨: 本稿の目的は、特集「情報標示の諸要素」(『語学研究所論集』第22号, 東京外国語大学) における25個のアンケート項目に対するパピアメント語のデータを与えることである。

Abstract: This report aims to provide the Papiamentu data which answers the 25 survey questions for the special volume of the *Journal of the Institute of Language Research* 22, which focuses on the cross-linguistic study of 'markers of informational structure'.

キーワード: パピアメント語, クレオール言語, 情報構造

Keywords: Papiamentu, creole, information structure

1. はじめに

パピアメント語は主にアルバ島, ボネール島, キュラソー島(3つの島の頭文字を取り「ABC諸島」とも呼ばれる)で話されているクレオール言語である。基本語順はSVOであり, 修飾語と被修飾語の語順は品詞(場合には語彙)によって異なる。本稿における表記はキュラソー島の正書法を採用している。

本稿の作成にあたり, J.C.氏(キュラソー島出身, 1990年生まれ, 男性)の協力をいただいた。

2. 言語データ

(9-1) において統語的に動詞の必須項ではない「この土地」はパピアメント語では場所として扱われ, 前置詞句によって表される。

【統語的に動詞の必須項ではない名詞の統語的軸項としての機能】

(9-1) この土地は野菜がよく育つ。だから高い値段で売れるだろう。

Berdura ta krese bon riba e tereno aki. Pesei, e lo bende na un preis haltu.
vegetable IPFV grow good on the land here therefore 3SG IRR sell at a price high

(9-2) において話し手が所有代名詞(人称代名詞と同形)のmiが用いられ, kabes「頭」を修飾している。



本稿の著作権は著者が保持し, クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

【話し手のなわ張り内・聞き手のなわ張り外，統語的軸項としての機能】

(9-2) 私は頭が痛い。だから今日は休む。

Mi kabes ta morde. Pesei mi ta bai sosegá awe.

1SG head IPFV hurt therefore 1SG IPFV go rest today

限定は副詞 *so* 「だけ・ただ」によって表される (9-3). (9-4) の場合も *so* が肯定の述語と一緒に用いられ、限定している語 (*aki* 「ここ」) のあとに現れている。(少なくともこの文脈において) パピアメント語では、日本語のように否定と限定を自然に合わせることができないようである。

(9-3) あの人だけ，時間通りに来た。【限定】

E so a yega na tempu.

3SG only PFV arrive at time

(9-4) これはここでしか買えない。【限定・否定との共起】

Bo por kumpr=é aki so.

2SG can buy=3SG here only

多数のものを限定する場合は，(9-5) のように *uniko* 「唯一の」という形容詞が用いられ，限定するものを新情報として扱い，「唯一いた人たち=子供」という構造が用いられる。

(9-5) その家にいたのは子供ばかりだった。【限定・多数】

E uniko persona=nan den e kas tabata mucha.

the only person=PL in the house COP.PST child

パピアメント語には限定・強調を表す明確な方法がなく，確信を表す副詞 *sigur* 「間違いなく」などで似た意味しか表せないようである (9-6).

(9-6) 次回こそ，失敗ないようにしよう。【限定・強調】

Siguiente bia sigur, laga nos sigurá ku nos no ta faya.

next time surely let 1PL make_sure that 1PL NEG IPFV fail

反限定・例示も表す明確な方法がなく，「か別の何か」という迂言的な表現で似た意味が表される (9-7).

(9-7) 疲れたね，お茶でも飲もう。【反限定・例示】

Mi ta kansá, laga nos bebe te òf algu.

1SG COP tired let 1PL drink tea or something

(9-8) では「私たちに水がある」ことが *turesten ku* 「さえ叶えば」という表現が必要十分条件であることを表している。日本語では「さえ」が名詞を限定しているのに対し，*turesten ku* は節全体にかかっている。それに対し，(9-9) では *asta* 「まで」が名詞句のみを限定している。

(9-8) 水さえあれば、数日間は大丈夫だ。【極端・意外】

Turesten ku nos tin awa, nos lo ta bon pa un par di dia.
as_long that 1PL have water 1PL IRR COP good for a couple of day

(9-9) 小さい子供まで、その仕事の手伝いをさせられた。【極端・意外】

Asta mucha chikí a wòrdu poné pa yuda ku e trabou.
even child young PFV PASS put for help with the work

パピアメント語では反極端・低評価の「なんか」に当てはまる表現がないが、副詞 *niun* を用いて「お金が全くほしくない」という意味となり、文脈によって似た意味合いを表すかもしれない (9-10).

(9-10) 私はお金なんか欲しくない。【反極端・低評価】

Mi no ke niun sèn.
1SG NEG want none money

(9-11) では (9-8) と同じく、*por lo menos*¹「最低限」が節全体にかかり、1つの名詞(句)を限定するものではない。

(9-11) 自分の部屋ぐらい、自分できれいにしなさい。【反極端・最低限】

Por lo menos limpia bo (propio) kamber bo so.
at least clean 2SG own room 2SG only

類似・累加は副詞 *tambe* によって表される (9-12).

(9-12) 私にもちょうだい。【類似・累加】

Duna=mi un tiki tambe.
give=me a little also

(9-13) では *awo*「今」という語が用いられるが、この文脈では「～はどう？」という意味を表している。

(9-13) お父さんもう帰って来たね。お母さんは？【反類似・対比 (疑問)】

Tata ta na kas kaba, mama awo?
father COP at house already mother now

特定未知・非現実不特定の人を表す場合は *un hende*「1人の人」という名詞句が用いられ、疑問詞 *ken*「誰」は用いられない (9-14, 9-15).

¹ ちなみに、*por lo menos* はスペイン語に由来し、パピアメント語では直接分析できないためグロスでは“at least”という英訳になっている。

(9-14) 誰か (が) 電話してきたよ. 【特定未知 (specific unknown)】

Un hende a bël.

a person PFV call

(9-15) 誰かに聞いてみよう. 【非現実不特定 (irrealis non-specific)】

Laga=nos puntra un hende.

let=1PL ask a person

疑問文における「誰か」の場合も普通名詞の hende 「人」が用いられるが、冠詞などその名詞を限定する語は用いられない (9-16).

(9-16) 私のいない間に誰か来た? 【疑問 (question)】

Tin hende a bin ora mi no tabata tei?

have person PFV come when 1SG NEG COP.PST here

(9-17) のように、条件節の場合は hende 「人」ではなく、疑問詞の ken が用いられ、条件が ku に導入される関係節によって表される. a. と b. の違いは a. における ken ku ta という表現には「来る人だれでも」という意味合いがあるのに対し、b. には特にそのような意味合いがない点である.

(9-17) 誰か来たら、私に教えてください. 【条件節内 (conditional)】

a. *Ken ku ta ku bini, laga=mi sa.*

who that COP that come let=1SG know

b. *Ken ku yega, laga=mi sa.*

who that arrive let=1SG know

「誰も」を否定する場合は間接否定でも直接否定でも niun hende 「どの人も (ない)」という表現が用いられる (9-18, 9-19). (9-18) の a. と b. は否定の範囲が若干ことなるが、どの場合も niun hende 「どの人も (ない)」という表現が用いられる.

(9-18) 今日は誰も来るとは思わない. / 今日は誰も来ないと思う. 【間接 (全部) 否定 (indirect negation)】

a. *Mi no ta kere niun hende lo bini awe.*

1SG NEG IPFV believe none person IRR come today

b. *Mi ta kere ku niun hende lo bini awe.*

1SG IPFV believe that none person IRR come today

(9-19) そこには今誰もいないよ. 【直接 (全部) 否定 (direct negation)】

No tin niun hende einan aworaki.

NEG have none person there right_now

自由選択の場合は疑問詞 ken 「誰」を使った表現 ken ku ta 「誰でも」も、 hende 「人」を用いた名詞句 kualke hende 「どの人も」も用いられうる (9-20).

(9-20) (それは) **誰でも**できる. 【自由選択 (free-choice)】

- a. *Ken ku ta por hasi.*
who that COP can do
- b. *Kualke hende por hasi.*
whomever person can do

自由選択を示す「みんな」の場合は *hende*「人」を含む表現 *tur hende*「すべての人」が用いられる (9-21).

(9-21) そんなこと (は), **みんな**知っているんじゃないか!? 【自由選択を示す「みんな」】

- Tur hende no sa kaba tokante di dje!?*
all person NEG know already about of 3SG.OBL

パピアメント語において反語は普通の疑問文と同形であり, 文脈や韻律によってのみ疑問文と区別される. (9-22) では疑問詞 *ken*「誰」が用いられている.

(9-22) そんなもの, **誰**が買うんだよ!? 誰も買うわけじゃないか! 【反語】

- Ken ta bai kumpra e kos ei!? Sigur niun hende lo kumpré.*
who IPFV go but the thing there surely none person IRR buy

(9-23) と (9-24) では否定を表す *no* を文末に置くこのによって, 相手の確認を促しているが, 答えを求めない場合にも用いられる.

(9-23) 君は英語がうまい**ね**. 【話し手のなわ張り内・聞き手のなわ張り内】

- Bo ingles ta hopi bon, no?*
2SG English COP very good NEG

(9-24) 君は退屈そう**だ**ね. 【話し手のなわ張り外・聞き手のなわ張り内】

- Bo ta mustra ku bo ta sinti laf, no?*
2SG IPFV show that 2SG IPFV feel bored NEG

(9-25) のように相手の注意を促す場合に文末に *bo sa?*「知っていたか?」という疑問を加えることがある.

(9-25) 明日も寒**い**らしいよ. 【話し手のなわ張り外・聞き手のなわ張り外】

- Ta parse ku mañan tambe ta bai ta friu, bo sa?*
IPFV seem that tomorrow also IPFV go COP cold 2SG know

略号一覧

1, 2, 3	1, 2, 3 人称	PASS	受身
COP	冠詞	PFV	完了
IPFV	未完了	PL	複数
IRR	非現実	PST	過去
NEG	否定	SG	单数
OBL	斜格		

執筆者連絡先 : varela.almiron.patricio.o0@tufs.ac.jp

原稿受理 : 2021 年 12 月 8 日